

## 2月～3月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
アニメ映画会	2月12日、3月11日 13時30分～		中央図書館 TEL222-0559 FAX224-7822
子ども映画会	2月18日、3月19日 13時30分～		
春のおはなし会	3月28日 15時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		西図書館 TEL237-5660 FAX237-5661
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712 FAX228-7713
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550 FAX238-7551
子ども体験教室 「昔の道具を使ってみよう」	2月11日・18日 ①10時～11時45分 ②13時30分～15時15分	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「和紙作りに挑戦」	3月11日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月3日、9時から電話またはファクス(定員各回15人)	○	
子ども体験教室 「わら細工に挑戦」	3月18日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月2日、9時から電話またはファクス(定員各回20人)	○	
石と森の夢工房	2月18日 10時～11時15分 申し込み＝2月7日、10時から電話、ファクスまたは直接来館(先着30人)	○	大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
季節のおそび ～テラコッタを作ろう～	3月11日 10時～11時30分 申し込み＝2月23日、10時から電話、ファクスまたは直接来館(先着30人)	○	
春休み子ども映画会	3月28日・29日 10時30分～12時	○	
障がい者親子太極拳教室	3月4日 10時～11時30分 申し込み＝2月8日、10時から 直接来館(定員10組・参加費100円)		名細公民館 TEL231-0001 FAX239-1166
親子クッキング	3月11日 10時～13時 申し込み＝2月8日、10時から直接 来館(定員10組・参加費900円)		
おはなし会	2月2日、3月2日 10時～10時40分		高階南公民館 TEL245-3581 FAX240-1752
子ども卓球広場	2月4日、3月4日 13時30分～15時30分		
子ども囲碁将棋広場	2月18日、3月18日 9時～11時	○	
人形劇フェスティバル	3月12日 10時30分～11時30分		
土曜子ども映画会	3月18日 10時～11時		
第38回川越市ジュニアスキー教室	3月18日6時発～20日19時頃着 会場＝長野県菅平高原スキー場 対象＝小4～中学生(定員120人) 申し込み＝2月10日消印有効でハガキ	○	スポーツ振興課 TEL224-6094 FAX224-8712
ワークショップ 「猫の缶バッジを作ろう」	3月11日・12日 ①10時～12時 ②13時～15時	○	美術館 TEL228-8080 FAX228-7870
ジュニアアートスクエア (子どものためのプログラム)	3月18日・25日 10時～12時(両日とも参加できる方) 申し込み＝3月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)		

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

※ 〇の講座は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

※ 「中学生」の欄に○がついている講座は、中学生にもお勧めの講座です。

### 川越子どもサポート発表会

2月18日

子どもたちのために、学校・家庭・地域が連携して取り組む「川越・地域子どもサポート事業」。よりよい活動を目指し、それぞれの取組が紹介されます。

◆日時：平成29年2月18日(土)  
午前9時15分～午前11時30分

◆会場：川越市やまぶき会館

#### 主な内容

○今年度の活動発表(古谷地区、大東地区、山田地区、福原地区)。他の10地区の活動もスライドショーで紹介。

○子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」金賞受賞者の発表・表彰

○入賞者の作品40点をロビーに展示

### 子どもサポートコンクール

#### 「小江戸見つけ隊」全作品展示会

子どもサポート発表会で表彰された作品をはじめ、作文・絵画・新聞の応募全作品(1,123点)を展示します。

◆日時：平成29年2月22日(水)  
～2月26日(日)

午前9時～午後5時まで

※最終日は午後3時、入場2時30分まで

◆会場：川越市立美術館市民ギャラリー(入場無料)

2月22日  
～26日



昨年度の美術館での展示会の様子



川越市マスコットキャラクター  
ときも

詳しくは、地域教育支援課(TEL224-6086)までお問い合わせください。

# 知得文化財 第35回

知ってちょっと得意になれる!

このコーナーでは、子どもたちにわがまち川越のことを知ってほしいとの思いから、川越の文化財をわかりやすく紹介します。

## 「ユネスコ無形文化遺産」

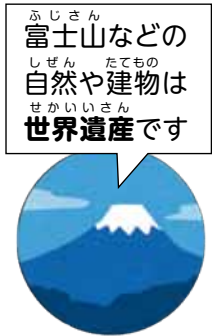
平成28年12月1日、日本の「山・鉾・屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定しました。

この「山・鉾・屋台行事」は、全国で行われている33件のお祭りをひとつにまとめたものですが、33件の中には、川越市内で毎年行われている川越氷川祭の山車行事（川越まつり）も含まれています。

### ① ユネスコ無形文化遺産について

日本を含む、世界中の人々の間に伝わっている文化の中には、形を持たないものがあります。例えば、歌や踊り、お芝居、言葉、お祭り、物作りの技、生活の仕方などです。これらは人から人へ、実際にやり方を見て、話を聞いて、体で覚えて伝えてきたものです。このようなものの中でも、ある国や地域、グループに昔から伝わり、そこに住む人たちの歴史や生活に関わっているものを「無形文化遺産」といいます。

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）は、このような無形文化遺産の中から、いくつかの条件に当てはまっているものを選んで「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」という表に名前を載せています。この表に名前が載ると、ユネスコ無形文化遺産に登録されたということになります。



### ② 「山・鉾・屋台行事」とは？

昔から日本では、神様は高いところにおりてくるといって考え方があり、大きな木や、岩、山などが大事にされてきました。そのため、お祭りの時には山のような大きいものや、高い柱を立てて、神様におりてきてもらう場所を作りました。このような場所や物のことを「依代」といいます。

山・鉾・屋台行事は、このような依代を作って町の中を回り、地域の安全を願う祭りです。京都で行われている祇園祭が最初と言われています。神様が見てわかりやすいように高く、色々な飾りをつけていたのが、時代とともに見る人が素晴らしいと思う華やかな飾りになり、町中を回りやすいように車輪などがつくようになりました。現在では船の形のもの、動く人形がついているもの、踊ったりや楽器を演奏する舞台がついているものなど色々な形、種類があります。



川越氷川祭の山車行事（川越まつり）



祇園祭の山鉾（京都市）



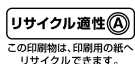
豪華な飾りがつく屋台（高山市）



大きな鯛が載る曳山（唐津市）

市教委だよりNo.110 発行／川越市教育委員会教育総務課 TEL(224)6074(直通)

この印刷物は、国等による廃棄物等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき基本方針の判断を高める紙を使用しています。



市教委だよりは再生紙および大豆油インクを使用しています

